会報 NO.2466
2020 年 12 月 10 日発行

箕面ロータリークラブ

2020-21 WEEKLY BULLETIN

2020-21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度ガバナー 簡 仁一

【2020-21 年度】 会長 河野優作 幹事 前田建司 広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 fax:072-724-1786
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

◆今週の例会プログラム◆
2020 年 12 月 10 日(木) 第 2460 回例会
半期(仮)決算報告/年次総会
会計： 片山 秀樹 会員

◆次回の例会プログラム◆
2020 年 12 月 17 日(木) 第 2461 回例会

クリスマス例会

◆前回例会◆
2020 年 11 月 19 日 (第 2459 回例会)
♪ロータリーソング「我等の生業」
【出席報告】
会員数 27 名 出席 14 名
出席率 58.3%

◆会長挨拶◆ **河野 優作**

先週、12 日に 2 回目となる IM 第 1 組の会長、幹事会が行われ、前田幹事と共に出席してまいりました。各クラブの近況、課題等、色々な話しを聞くことができました。その中でも当クラブと同じようにやはり各クラブ共、コロナの影響を受け例会の開催、回数、各奉仕活動等の活動に大変苦労されているとのことでありました。クリスマス例会も今年度は中止、または会員のみ参加というクラブも多くありました。当クラブにおきましても同様に、会員のみの例会となりますが、親睦委員会の皆様のお力をお借りしまして LINE によるビデオ通話を利用して各ご家族との交流を計画しておりますので皆様のご参加、お願い致します。

今年もあと 2 か月を切りました。世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス禍は年をまたぐことになりそうです。今月はアメリカ大統領選挙や東京オリンピック開催についての最終判断など、来年の世界情勢に大きな影響を与える出来事が多くあります。

日本でも 9 月の首相交代で国政に新しい動きが出てきましたが、その中で大きな話題となっているものにデジタル庁の新設があります。世界レベルからみて周回遅れと言われていた国のデジタル対応レベル。新型コロナへの対応で官民共に浮き彫りになってしまったこの話は、行政や企業だけのものではなく、日本のロータリーの世界にも当てはまる話でした。

ポール・ハリスは 1972 年のベルギー・オステンドでの国際大会で行った挨拶で「ロータリーの奉仕理念は哲学ですから普遍のものであり、みだりに変えるべきではありません。いや、絶対に変えてはなりません。しかし奉仕の実践は社会のニーズに従って大胆に変化させなければ、誰からも頼りにされないばかりか相手にされません。また奉仕の理念を持って活動を行うのであれば社会の変化に沿ったクラブの運営方法を考えねばなりません。そしてロータリーが奉仕の理念を貫こうとするならば、常にパイオニアとして新しい試みに挑戦し続けることが必要なのです」と述べています。

今、このコロナ禍では奉仕の実践については、従来行っていた国を越えての活動や、多人数の行動参加が難しくなっているのは事実です。またこの経済状況の中で会員増強にも 厳しい状況となっていると思います。しかしながら、より魅力ある自分たちのクラブ作りについては見直すいい機会とも言えると思います。自分たちのクラブが社会の変化に沿ったものになっているか？新しい会員を迎えることにふさわしいものになっているかどうか？まだ暫くは続くコロナ禍の状況のなかで今一度、クラブの状況、体制を考える機会とし、変えてはいけないものと変えなければいけないもの、その両方を明確にしてクラブの方向性を考えていきたいと思います。

◆幹事報告◆　　前田　建司

・１２月例会予定について
　１２月　３日　　休会
　　１０日　　半期（仮）決算報告/年次総会
　　１７日　　クリスマス例会
　　２４日　　納会（電話連絡により出席とする）
・１１/１２　会長・幹事会開催の報告
　ＩＭ第１組ロータリーデーについて下記の通り決定いたしましたのでご報告いたします。
　　日　時　２０２１年３月２７日（土）
　　場　所　ヒルトン大阪
　　登録料　５０００円
　　・ＺＯＯＭ配信あり
　　・大阪万博について講話者を募集中
　　・当日フレッシュロータリアンの集いを予定
・クリスマス例会出欠報告のお願い
　（本日出欠表を廻します）
・２０２１年ロータリー国際大会　早期割引登録案内
　及び国際大会参加旅行の募集案内について
・薬物乱用防止募金について（本日募金箱を廻す）
・ガバナー、危機管理委員長より新型コロナウイルスの感染防止について

◆委員会報告◆　　親睦活動委員長　　芝野　弘三郎

１２月１７日（木）のクリスマス例会についてご報告いたします。お手元に２通のご案内状がございますのでご確認ください。クリスマス例会のご案内とお子様へのプレゼント贈呈についてです。クリスマス例会は１８時３０分よりこちらの例会場にて行います。例会ビジネスの後、お子様へのプレゼント贈呈を予定しております。LINE のビデオ通話にて各ご家庭のお子様たちにプレゼントを配るという趣向を凝らしたものにしたいと思っております。詳しいことは親睦活動副委員長の山本さんが考えてくれておりますので、よろしくお願いいたします。只今、クリスマス例会の出席表を廻しておりますので、ご自身のご出欠、オンラインでご参加いただけるお子様の申し込みをご記入ください。

※１２月２日、クリスマス例会第２部（お食事）の中止が決まりました。

◆ゴルフ同好会報告◆　　世話役　黄堂　泰昌

『箕面ロータリークラブゴルフコンペ　第１回河野会長杯』が１１月１５日箕面ゴルフクラブに於きまして、絶好のゴルフ日和のもとに開催されました。並みいる強豪を退け、川端崇且会員が優勝されましたのでご報告いたします。

川端会員、おめでとうございます！

◆ＳＡＡ報告◆　　SAA　　木村　知也

ニコニコ

川 端 崇 且 会 員：皆様のお陰で河野会長杯ゴルフコンペで優勝しました。じじいガンバレ！
黄 堂 泰 昌 会 員：コロナ感染拡大、お気をつけください
芝 野 弘 三 郎 会 員：片山会員、卓話よろしくお願いします
人 羅 一 磨 様：ゴルフお疲れ様でした。ありがとうございます
前 田 建 司 会 員：片山会員　卓話宜しくお願いいたします
西脇　悟会員、木村知也会員、河野優作会員

米山奨学会

黄堂泰昌会員、河野優作会員、西脇　悟会員、前田建司会員、林たかみ会員、木村知也会員、川端崇且会員、芝野弘三郎会員

ロータリー財団

片 山 秀 樹 会 員：今月は財団の月間です。ロータリー財団、ポリオへのご寄付をよろしくお願いいたします
芝野弘三郎会員、川端崇且会員、黄堂泰昌会員、前田建司会員、河野優作会員、木村知也会員、西脇　悟会員、林たかみ会員

ポリオ基金

木村知也会員、片山秀樹会員

◆卓話◆　　ロータリー財団委員長　　片山　秀樹

本年度のロータリー財団委員長をさせていただきます片山です。今月はロータリー財団月間ですので卓話を担当させていただきます。

私は入会して以来、ロータリーは親睦と奉仕であると教えられてきました。親睦は参加しているうちに理解しやすいのですがロータリアンとしての奉仕については理解しづらい部分もあるかと思います。奉仕には個人として、クラブとして、地区として、RI レベルでそれぞれできる範囲が限られています。ロータリー財団委員会の仕事は会員の皆様に財団について理解していただき、寄付を集め、補助金事業を実施することと理解していますのでよろしくお願いいたします。

初めにロータリー財団の歴史ですが、

- 1905 年　ポール・ハリスら4人でシカゴにて初のロータリークラブ例会を開く
- 1917 年　第 6 代 RI 会長、アーチ　C. クランフが基金の設置を提案（財団の出発）
- 1928 年「ロータリー財団」として認証される
- 1947 年　ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなり多くの寄付が寄せられロータリー財団の発展のために役立てられた
- 1978 年　補助金のプロジェクト第一号としてフィリピンでポリオの予防接種を実施
- 1985 年「ポリオプラス・プログラム」を設置
- 2013 年　新しい補助金モデル（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）が導入され、資金の使途については地区に任されるように変更された
- 1917 年　財団創立 100 周年を迎える

以上の通り 26 ドル 50 セントの寄付から始まった財団活動は財団資金が約　11　億ドルになるまで大きく発展し、長きにわたり人道的分野や教育面などの支援活動を続けています。

中でも RI レベルでの活動としてポリオの撲滅があげられます。ポリオとはポリオウイルスの中枢神経感染により生ずる四肢の急性弛緩性麻痺典型的な症状とする疾患であり、かつては小児に多発したところから小児麻痺ともよばれていました。ウイルスが人の口の中に入り腸の中で増えることで感染します。増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。日本では昭和　35 年には大流行があり全国で　6,500　人に達する患者が報告されています。昭和 36 年にポリオ生ワクチンが 1,300 万人の小児に一斉投与が行われ、その後、患者数は激減し昭和　55 年を最後に我が国では発生していません。ロータリークラブにより 1985 年にスタートした「ポリオプラス・プログラム」により当初 125 カ国に 35 万人以上いた患者は常在国がパキスタン、アフガニスタンの　2　か国にまで減りポリオの撲滅まであと少しのところまで来ています。

当クラブにおいても財団補助金を活用したプログラムが数多く実施されてきました。

2013-2014　「薬物乱用撲滅キャンペーン」
2014-2015　「遥学園の支援活動」
2015-2016　「箕面公園整備」
2016-2017　「あかつき園への寄付」
2017-2018　「箕面市国際交流協会へのグローバル教育への支援」
2018-2019　「地域の安全促進のため子ども見守り用のぼりと手持ち旗の寄贈」、「2018 年台風 21 号による災害支援」
2019-2020　「市内の妊婦さんにマタニティーマークの寄贈」、「消毒用エタノールの調達、配布による福祉施設、小中学校の安全確保」

本年度はコロナの影響により補助金事業を計画できませんでしたが次年度の実施に向けて浦エレクトと準備を進めているところです。

以上のとおりロータリークラブが多くの奉仕事業を実施することが出来たのはロータリー財団の貢献が大きかったと考えられます。本年度は寄付目標を特に設定していませんでしたが財団活動の趣旨を理解していただき、例年同様の寄付をお願いいたします。

・ロータリー財団(年次基金)==>例年の寄付目標(150 ドル/人)
・ポリオプラス基金==>例年の寄付目標(50 ドル/人)